

✕ 会社概要 (2021年9月30日現在)

商号	株式会社ティーガイア (T-Gaia Corporation)
本社所在地	〒150-8575 東京都渋谷区恵比寿4-1-18 恵比寿ネオナート14F～18F
資本金	3,154百万円
設立	1992年2月
事業内容	(1) 携帯電話等の販売及び代理店業務 (2) ソリューション、ブロードバンド等 通信サービスの販売取次業務 (3) 決済サービスその他新規事業、海外事業
販売地域	日本全国、シンガポール
従業員数	5,665名(連結)

役員 (2021年9月30日現在)

代表取締役社長 執行役員	金治 伸隆
取締役 副社長執行役員	近田 剛
取締役 副社長執行役員 CSO	石田 将人
取締役 副社長執行役員 CFO	菅井 博之
取締役	榎木 克哉
取締役(社外取締役)	浅羽 登志也
取締役(社外取締役)	出口 恭子
取締役(社外取締役)	鎌田 淳一
取締役(社外取締役)	諸星 俊男
常勤監査役	奥谷 直也
常勤監査役	橋本 良
監査役(社外監査役)	蒲 俊郎
監査役(社外監査役)	北川 哲雄

✕ 株式情報 (2021年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	400,000,000株
発行済株式総数	56,074,000株
株主数	28,616名

大株主の状況

氏名または名称	所有株式数	持株比率
住友商事株式会社	23,345,400株	41.86%
光通信株式会社	5,516,500株	9.89%
株式会社UH Partners 2	5,516,500株	9.89%
株式会社UH Partners 3	3,047,100株	5.46%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,404,400株	4.31%
ティーガイア従業員持株会	922,100株	1.65%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	642,800株	1.15%
STATE STREET BANK AND TRUST CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OM02 505002	497,500株	0.89%
MSIP CLIENT SECURITIES	379,800株	0.68%
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140040	365,954株	0.66%

※ 持株比率は、自己株式308,866株を控除して計算し、小数点第3位以下を四捨五入しています。

ホームページのご案内

株主・投資家様向けの
情報を開示しています。
ぜひご覧ください。



<https://www.t-gaia.co.jp/>

ティーガイア

検索

TG REPORT

vol. 32
2021年 冬号

第31期 第2四半期 (2021年4月1日～2021年9月30日)



見やすい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。



本誌は、FSC®森林認証紙と
植物性インキを使用しています。

企業理念

TGビジョン ~わたしたちの目指す姿~

- 新たなコミュニケーションの提案を通じ、お客様に感動・喜び・安心を提供します。

TGミッション ~わたしたちの使命~

- 社員とその家族を大切に、働く喜びを実感できる企業であり続けます。
- ビジネスパートナー・地域社会・株主と強い信頼関係を築き、ともに発展し続けます。
- リーディングカンパニーとして、変化を先取りし、新たなビジネスに挑戦し続けます。

TGアクション ~わたしたちの行動指針~

- 「ありがとう」を超えるサービスを追求します。
- 情熱とスピード感を持ち、積極果敢に挑戦します。
- コミュニケーションを大切に、風通しの良い職場をつくります。
- 多様性を尊重し、最高のチームワークを実現します。
- プロフェッショナルとして日々の自己研鑽に努めます。
- いかなるときも高い倫理観に基づき誠実に行動し、コンプライアンスを徹底します。

目次 Table of Contents

企業理念	1	配当政策	7
株主の皆様へ	2	株主通信アンケート結果ご報告	8
Topics 特集 移動携帯ショップの取り組み	3	CSR	9
当第2四半期(累計)の業績	5	TGラウンジ	10
事業別業績ハイライト	6	会社概要、株式情報	裏表紙

株主の皆様へ

市場の変化に対応し、
生産性向上等の取り組みを加速。
「TG Universe」の拡大を実現します。

代表取締役社長 執行役員

金治 伸隆



株主の皆様には益々ご清栄のことと、お慶び申し上げます。
当社グループの主な事業分野である、携帯電話等販売市場では、通信事業者各社の料金値下げ等により市場が活性化する一方、オンライン専用プランの提供が2021年3月に始まり、店舗の役割および競争環境に大きな変化が起こっております。

上半期の携帯電話等販売台数(以下、「販売台数」)は、203万台と前年同期を大幅に上回りました。①前年の第1四半期(2020年4~6月)に、店舗の時短営業や休業、一部業務の取扱制限によって販売台数が大幅に減少していたこと、②3G(第3世代移動通信システム)回線から4G・5G回線への移行および通信事業者間の競争が激化したこと、③2020年11月の株式会社TFモバイルソリューションズ(以下、「TFM」)子会社化(2021年2月に吸収合併)で店舗数が増加したことによるものです。

一方で、一部通信事業者の手数料条件改定により、当社グループの手数料収入が減少しました。また、メインブランド以外の販売割合が増加し、利益率が低下しました。

この結果、当上期業績は、売上高2,203億37百万円(前年同期比30.8%増)、営業利益48億98百万円(同12.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は53億97百万円(同15.8%減)となりました。

モバイル事業においては、上述のとおり販売台数が大幅に増加した一方で、利益率が低下しました。今後、生産性の向上や、出張販売などによる販売・サービス提供機会の創出など、収益

性改善の取り組みを加速させます。

ソリューション事業においては、働き方改革による積極的なICT投資に加え、感染症の影響によりテレワークに対応したスマートデバイスの普及が進んでおります。旧TFMの法人販路が加わり、販売台数は前年同期を上回りました。一方で、世界的な半導体の供給不足等に伴う一部商品の納入遅れが続いております。

決済サービス事業他においては、前年同期に比べ、ギフトカードを中心に取扱高は減少しました。前年同期における全国規模の外出自粛により、高まっていたゲームや音楽・動画配信等の様々なデジタルコンテンツの需要は落ち着きつつあります。一方で、よりバラエティに富んだコンテンツを提供しているPINについては前年維持をしており、この傾向はしばらく続くと考えております。

携帯電話等販売市場では上述のとおり、事業環境が大きく変化しています。この変化に対応すべく、当社では「生産性の向上」に加え、「法人向けビジネスの拡大」や「M&Aによるポートフォリオ最適化」などの取り組みを加速させます。これらの取り組みにより、収益性・効率性を改善すると同時に、当社の核となる「人財」の質の向上も実現し、中期経営計画で掲げる全社戦略「TG Universe」の拡大につなげてまいります。

中期経営計画

▶ https://www.t-gaia.co.jp/company/plan/202203_202403/index.html



特集

移動携帯ショップの取り組み

環境・災害・感染症に配慮した移動店舗で地域に貢献

2021年7月

■ 携帯電話販売代理店初* マイクロバス移動携帯ショップを導入

2021年7月、当社は携帯電話販売代理店初*のマイクロバス移動携帯ショップを導入しました。

車両には、環境・災害・感染症に配慮した設備を搭載しており、お客様に安心してご利用いただけます。

2021年11月までに2台の車両で、九州・四国・東北地方の道の駅やショッピングモール、ホームセンターなどで、出張販売・相談会を実施しました。携帯ショップが近隣にない地域のお客様や、コロナ禍で遠出するのが難しいというお客様にご好評いただいています。

移動携帯ショップを通じて、お客様との接点を増やすとともに、地域に貢献し、企業価値向上に取り組んでまいります。
*当社調べ



車両の特長



内装

トヨタ「コースター」を改装しました。木目調のシンプルな内装です。

環境・災害対策



太陽光パネル、蓄電池を装備。アイドリングなしで、空調や機材を使用することができます。災害時も役立つ設備です。

感染症対策



2台の大きな換気ファンを天井に設置し、十分な換気を行っております。

また、抗ウイルス・抗菌コーティングを施しており、感染症対策も万全です。



— 2021.7.21~25 —
綾町産業観光案内所 (宮崎県)



— 2021.8.24~27 —
道の駅 大和 (佐賀県)



— 2021.8.30~9.2 —
道の駅 香春 (福岡県)



— 2021.10.21~23 —
千厩ショッピングモールエスピア (岩手県)

当第2四半期(累計)の業績

売上高
2,203 億円
 (前年同期比30.8%増)

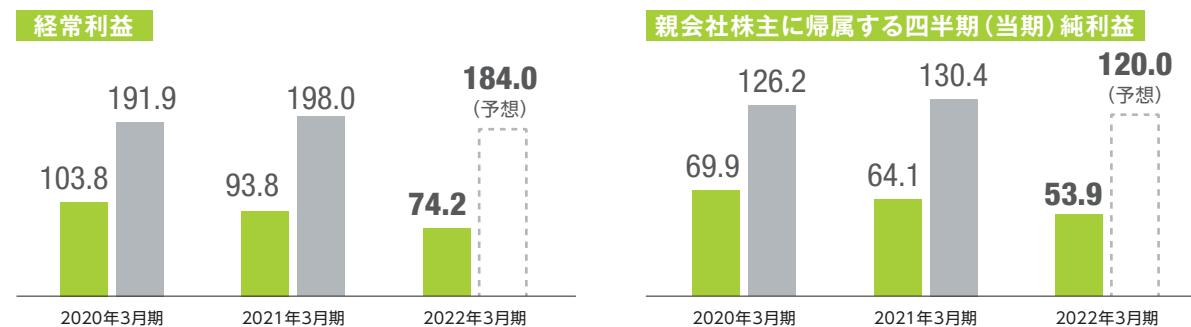
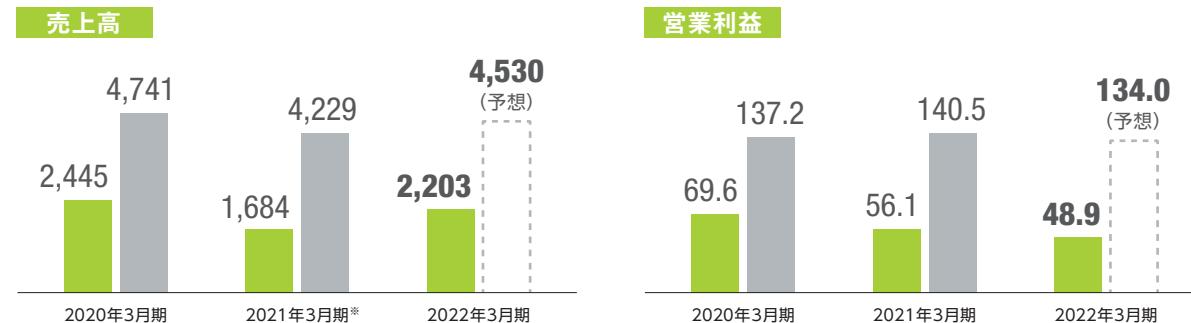
営業利益
48.9 億円
 (前年同期比12.7%減)

四半期純利益
53.9 億円
 (前年同期比15.8%減)

**前年同期比で増収減益。
 人財の質向上、効率性・収益性改善を着実に推進し、通期目標の達成を目指す。**

株式会社TFモバイルソリューションズ(以下、「TFM」)子会社化等により販売台数が増加し、売上高は2,203億円となりました。利益面では、一部通信キャリアの手数料条件改定による手数料収入減、メインブランド以外の販売割合増により利益率が低下したため、営業利益48.9億円、親会社株主に帰属する四半期純利益53.9億円となりました。通期は生産性向上、法人向けビジネスの拡大等を通じて、人財の質向上、効率性・収益性改善を図り、目標達成を目指します。

連結業績ハイライト (単位: 億円) ■ 第2四半期(累計) ■ 通期 (単位未満切捨て)



※「収益認識に関する会計基準」適用後の金額を記載しております。(適用前の売上高: 2021年3月期第2四半期1,823億円、2021年3月期通期4,508億円)

事業別業績ハイライト

**モバイル
事業**

売上高
1,871 億円
 (前年同期比35.1%増)

営業利益
38.1 億円
 (前年同期比4.1%減)

四半期純利益
27.3 億円
 (前年同期比3.3%減)

TFM子会社化等により販売台数は大幅に増加するも、2Q以降、一部通信キャリアの手数料条件改定、メインブランド以外の販売割合増加等の影響により減益。

**ソリューション
事業**

売上高
169 億円
 (前年同期比22.1%増)

営業利益
11.2 億円
 (前年同期比22.7%減)

四半期純利益
9.3 億円
 (前年同期比0.8%増)

TFM子会社化等により販売台数増も半導体不足による端末供給の遅れが継続。人員増・システム投資により営業減益するも、有価証券売却益もあり四半期純利益は増加。

**決済サービス
事業 他**

売上高
163 億円
 (前年同期比1.0%増)

営業利益
△0.3 億円
 (前年同期比-%)

四半期純利益
17.2 億円
 (前年同期比34.9%減)

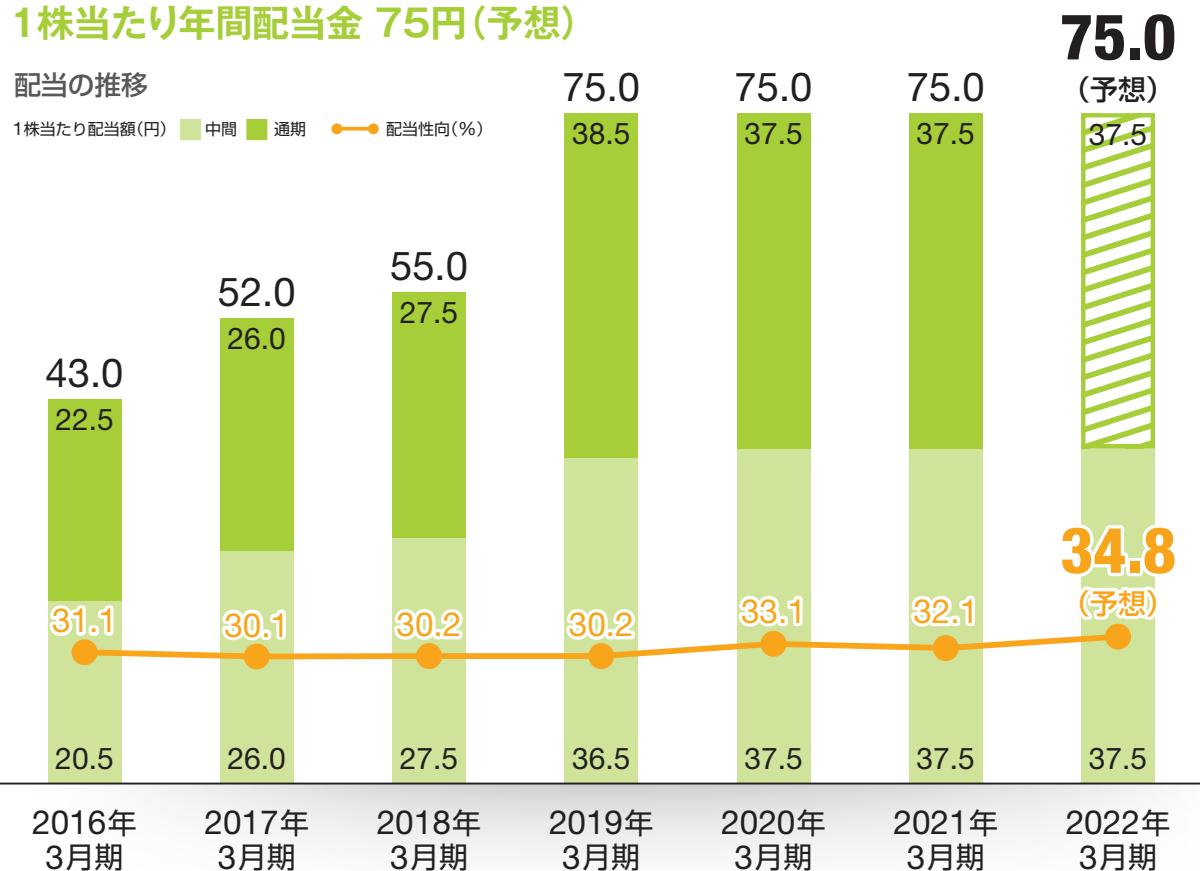
アクセサリ卸売り販売にて一過性の費用等を計上し、営業減益。期首想定どおりの退職金の減少により四半期純利益減。

業績の進展状況に応じて、将来の事業展開と
経営基盤の強化のために必要な内部留保を確保しながら、
配当性向 30%以上を目処として利益還元を実施していく方針です。

2022年3月期
1株当たり年間配当金 75円(予想)

配当の推移

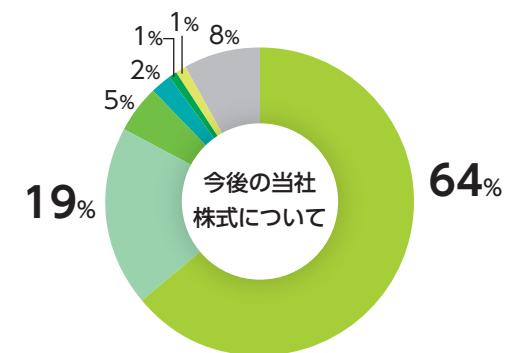
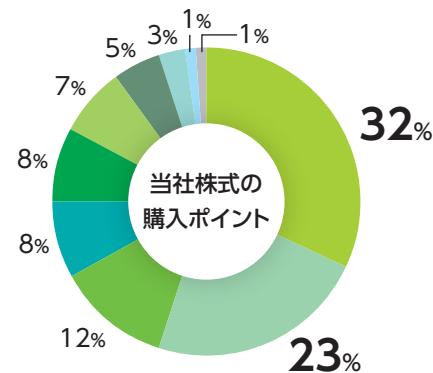
1株当たり配当額(円) 中間 通期 配当性向(%)



※2022年3月期(予想)の配当性向は、2022年3月期末における期中平均株式数(予想)に基づき算出しております。

当社グループは、IR(投資家向け広報)活動の一環として、株主の皆様とのコミュニケーション促進を図るべく、アンケートを実施させていただいております。前回のアンケートにおきましては、2,505名の株主様よりご回答をいただきました。

貴重なご意見・ご要望は、今後のIR活動および「TG REPORT」作成の参考にさせていただきます。皆様のご協力に感謝申し上げます。



- 株主優待
- 配当
- 将来性
- 収益性
- 成長性
- 事業内容
- 株価の値頃感
- 財務内容
- 企業理念
- その他

- 長期保有
- 当面保有
- 買い増し
- 全部売却
- 一部売却
- 短期売却
- 方針検討中

当社株式の購入ポイントとしては、「株主優待」が最多となっており、次いで「配当」「将来性」となっております。今後の当社株式については、「長期保有」、「当面保有」、「買い増し」が全体の約9割を占めております。

当社事業について

株主様の声

- 古い体制に捉われず、柔軟に時代を反映する会社として、益々成長して欲しいです。
- 新事業の進捗状況など、今後の成長と株価の上昇を期待しています。

配当・株主優待について

- QUOカードの障がい者アートの素敵な絵に毎回癒されます。こういう取り組みや人を大切にする姿勢に、SDGsの具体化を感じられて好感がもてます。

株主アンケート 株主の皆様のお声を聞かせてください

当社では、株主の皆様のご意見を今後のIR活動に反映するよう努めております。

ぜひ、ハガキもしくはサイトからアンケートにご協力ください。

アンケートサイトはこちら

2022年2月末まで

<https://www11.webcas.net/form/pub/t-gaia/tgreport-32>



ティーガイアの CSR

ドコモショップ4店舗で CO₂排出量削減実証実験

当社連結子会社である株式会社TGパワー（以下、「TGパワー」）が、当社運営のドコモショップ4店舗にて、CO₂排出量削減の実証実験を実施しました。Tesla製の蓄電池を導入し、昼間に太陽光発電した電気を夜間や災害時に使用します。これにより以下のようなCO₂削減効果を見込んでおります。

蓄電池導入による効果の見込み



※太陽光発電システム+蓄電池

この実証実験の結果を基に、蓄電池を含めた太陽光発電システムサービスの商品化を進めてまいります。

TGパワーでは、BCP対策、再生可能エネルギー活用の促進を通じ、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



ドコモショップ八街店

▶ CSR活動の詳細については、Webサイトに掲載しています。



「くるみん」認定を取得

2021年10月に当社は、「くるみん」認定を取得しました。

「くるみん」とは、「次世代育成支援対策推進法」に基づき、一般事業主行動計画の策定・届出を行った企業のうち、計画に定めた目標を達成し、一定の基準を満たした企業を、「子育てサポート企業」として、厚生労働大臣が認定する制度です。

子育て中の社員を含めて当社の根幹を成す人材の多様性を積極的に推進し、新たな時代や変化を先取りできる人材の育成に努め、更なる企業価値向上と持続的成長を図ってまいります。



「PRIDE指標2021」において ゴールドを受賞

2021年11月に当社は、職場におけるLGBTなどの性的マイノリティに関する取り組みを表彰する「PRIDE指標2021」において「ゴールド」を受賞しました。昨年の「シルバー」受賞に続き、最高ランクの獲得となりました。

今後も、「ダイバーシティ&インクルージョン推進方針」に基づき、LGBT当事者など多様な性的指向や性自認を受け入れる社内体制の整備に努めてまいります。



拠点情報 (2021年9月末現在)

ドコモショップ
405店
内直営店224店



auショップ
372店
内直営店98店



ソフトバンクショップ
319店
内直営店46店



キャリアショップ
合計
1,198店
内直営店406店



UQスポット
38店
内直営店11店



ワイモバイルショップ
38店
内直営店4店



楽天モバイルショップ
26店
内直営店23店



拠点だより

ドコモショップイオンモール白山店 7月15日移転オープン

ドコモショップ御経塚店は、2021年7月15日にドコモショップイオンモール白山店として移転オープンしました。

イオンモール内のゆったりとしたお店で、ご家族連れでも安心してご来店いただけます。

今まで以上にお客様にご愛顧いただけるよう、スタッフ一丸となって頑張っております！

お買い物のついでに、気軽にお立ち寄りください。

